プレーヤー、グランド、時間

		•	1・2年生(∪7 -	8)	3	・4年生(∪9-1	0)	5 •	6年生 (∪ 11	- 12)
1	プレーヤー	・プレーヤーは	各学年別にグループ	プ分けすることを原	則とする。					
		FW 1人		1人		FW	3人		FW	3人
2	チーム	・5人	НВ	1人	・7人	НВ	1人	・9人	НВ	1人
			BK	3人		BK	3人		BK	5人
					・60m以内×	3 5 m以内		・70m以内×	4 0 m以内	
					・フルグランドのインゴールラインと10m ラインと5m ラインに囲まれた地域をフィ - ルト オ フ フ レ - とする。			ナブブレー とする。		
							40m以内	40m以内	<u> </u>	
3	競技場	・40m以内×	28m以内			70m以内	IN GOAL	IN GOAL	<u>T</u>	
4	試合時間	・10分八一フ以内		・15分ハーフ	以内		・20分ハーフ	以内		
	- Marketine 7017.			•12分 3分	12分		•15分-3分 1	5分		
5	使用ボール	使用ボール ・3号ボール		・3号または4	号ボール		・ 4 号ボール			
3				・4号ボール						

競技方法

1. キックオフ 及びドロップアウト

		1・2年生(∪7 - 8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (∪11-12)
	キックオフ	・ハーフウェイライン中央でタップキックからのパス。 ・相手側はタップキックの行われる地点からゴールライ ンに平行して5m下がる。	・ハーフウェイライン中央でドロップキック。あるい はプレースキック(下に置いて蹴る)。	・ハーフウェイライン中央でドロップキック。
1			・相手側はキックの行われる地点からゴールラインに平行して5m下がる。 ・キックオフは5mラインに達しなくてはならない。 ・キッカー側が蹴る方向を示した後、相手側がその方向に陣形を整えた後にキックを行う。 ・相手側の陣形が整う前や反対の方向にキックが行われ場合はキックのやり直しを命じる。	
2	得点後の キックオフ	・得点された側のチームがキックオフの方法で行う。	・得点した側のチームがハーフウェイライン中央、またはその後方よりドロップキックまたはプレースキック。	・得点した側のチームがハーフウェイライン中央、ま たはその後方よりドロップキック。
3	ドロップアウト	・ゴールライン中央から 5 mフィールドオブプレーに 入った地点でタップキックからのパス。 ・相手側はタップキックの行われる地点からゴールラ インに平行して 5 m下がる。	・10mライン上か後方でドロップキックかプレース キック (下に置いて蹴る) のどちらかで行う。	・15m(<mark>10m)</mark> ライン上が後方でドロップキックで行 う。

2.キック

		1・2年生(∪7-8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (∪11-12)	
1	キック	・プレーを開始・再開するためのタップキック以外は禁 止、これに反した場合はキックが行われた地点で相手	・ボールを手で保持した状況から以外のキック (地上にあるボールを蹴るようなキック) は禁止。	・全てOK。	
2	ダイレクトタッチ		・ダイレクトタッチは10mライン内からならOK。	・ダイレクトタッチは15m <i>(10m)</i> ライン内から ならOK。	
3	フライキック	スクラム。	・フライキックは全て禁止。(「フライキック」とは、見境のないコントロールされないキックと定義される。 普通は地上にあるボールをキックする場合に起きる。)		
4	ドリブル		・禁止 <i>(OK)</i>	•ок	
5	罰則	・キックが行われた地点で相手にスクラムが与えられる	5.		

3.スクラム

		1・2年生(∪7 - 8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (∪11-12)
1	人 数	・フロントロー1人で組む。	・フロントロー3人で組む。	
2	組み方	・足はフラット(前後しない)にして相対するプロップの腕に軽く触れ、その後おだやかに組み合う。 <i>(自分の体を支えるようにして組む・・・足を前後してもよし)</i> ・頭と肩が腰より低くならないようにまっすぐ組み、スクラムが終了するまでバインドしていなければならない。		
2		・プレーヤーの習熟度に応じて、頭を組み入れないハンドスクラムを行うことができる。 ・左腕は相手の右腕の内側、右腕は相手の左腕の外側になるようにして相手のジャージの背中または脇をつかむ。	・フッカーは両プロップの腕の上からバインドする。 (・プロップは、内側の腕でフッカーをバインドする。 ・組み合った後、プロップは相対する相手としっかり)	·
3	ボールイン	・ボール投入は行わない。 ・フロントローの右足元(つま先の前)にボールを置 く <i>(かかとの後ろに置く)</i> 。	・ボール投入は行わない。 ・フッカーの右足元(つま先の前)にボールを置く <i>(かかとの後ろに置く)</i> 。	・「ノンコンテストスクラム」であるが相手側にボールを誤って蹴ってしまった場合は続行する。 ・投入はハーフバックがでいスクラムから出てくるボールを扱う最初のプレーヤーでなければならない。 ・ハーフバックが故意でなく最初にボールをプレーすることができなかった場合、スクラムを形成しているプレーヤー以外のどのプレーヤーもプレー可能。全てのプレーヤーがプレー可能。
4	解消(再開)	・ボールを右足の裏で後方に押し出すことでプレー再 開とする。	・ボールを右足の裏で後方に押し出すことでプレー再 開とする。	・ハーフバックがボールを触った時点、あるいは故意 ではなくボールをプレーすることが出来ずにスクラム
	(132-7)	・HB <i>がパスアウトしたら。</i> <i>(</i> HB <i>は必ずパスをする)</i>	・HB <i>がパスアウトしたら。</i> (HB <i>は必ずパスをする</i>)	からボールが出た時点。
5	オフサイド ライン	・防御側HBのオフサイドラインはスクラムの味方プレ (スクラムから1m以上離れるプレーヤーはHBではな <i>HBはFW(プロップ)の尻に手を置くことによって</i>	くバックスとみなされる。)	
		・防御側バックスのオフサイドラインはスクラムの味力	っプレーヤーの後方の足から3m下がったゴールラインに平	行した線。

4.ラインアウト

		1・2年生(∪7 - 8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (U11-12)
1	ラインアウトの 形成と補足	・ラインアウトは行わない。 ・タッチになった地点より味方にパスをする。 ・相手側はボールがタッチになった地点より3m下がり邪魔をしない。 ・ゴールラインより5m以内の場合はゴールラインから5mの地点。	・タッチになった地点より3mから8mの間で並びプレーヤーは2人である。 ・双方のプレーヤーの2つのラインの間には明確な間隔を空ける。 ・ゴールラインより5m以内の場合はゴールラインより5mの地点。 ・ボールの競り合いはなく、必ず投入側がジャンプしてボールを取る。 ・ジャンパーに対するサポートプレーは禁止	・タッチになった地点より3mから8mの間で並びプレーヤーは3人である。 ・双方のプレーヤーの2つのラインの間には明確な間隔を空ける。 ・ゴールラインより5m以内の場合はゴールラインより5mの地点。 ・ジャンパーに対するサポートプレーは禁止
2	ボールを取った プレヤーの制限		・ボール取ったプレーヤーは必ずHBにボールを出さなくてはならない。 ・HB <i>にパス。又はラインアウトを割って出ても良</i>	・HBにパス。又はラインアウトを割って出ても良い。
3	オフサイドライン	・ボールがタッチになった地点より3m。 PFの オフサイドライン ラインオフタッチ	・ラインアウトに参加していないプレーヤーのオフサイ バックスの オフサイドライン 3m 8m 8m パックスの オフサイドライン	イドラインはラインオプタッチから 5 m。 パックスの オフサイドライン III パックスの オフサイドライン パックスの オフサイドライン オフサイドライン

5.ゴールキック

		1・2年生(∪7-8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (U11-12)
1	ゴールキック	・行わない。	・ゴール正面から行う。	・トライをした地点を通りタッチラインに平行した線 上から行う。
				・キッカーの好きな地点から行える。

6.ファールプレー及びペナルティ

		1・2年生(∪7-8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (U11-12)
1	ファール プレー	・防御の際に、相手を振り回すプレー、相手をチャーミ はいずれも危険な行為である。	^が したり、突き倒したり。またはタッチに突き出すプレー、	フェンドオフ(腕を横に振り、相手を払い除けるプレー)
2	ペナルティー	 ・タップキックにより再開し、相手は反則のあった地点からゴールラインに平行して少なくても5m下がる。 ・反則の地点が相手側ゴールラインから5m以内の場合は、マークは反則の地点を通る線上、ゴールラインから5mの地点となる。 ・反則の地点が自陣ゴールラインから5m以内の場合も、マークは反則の地点を通る線上、ゴールラインから5mの地点となる。 このときのタップキックは相手がマークより5m下がってから行うこととする(早いリスタートはしない)。 		
3	フリーキック	・ペナルティキックと同じ。		

補足

		1・2年生(∪7-8)	3・4年生(∪9-10)	5・6年生 (∪11-12)
1	インサイドコーチ	・各チーム1名のコーチがグラウンドに入れる。・ゲーム中そのコーチは、自軍の最後尾のプレーヤーより後方に位置する。・そのコーチの発言は建設的なものでなくてはならず、ヒステリックに怒鳴ってはならない。	・3年生のみ1・2年生と同様に各チーム1名のコー チがグラウンドに入ることが許される。	
2	タップキック	・ボールを地面に置き、いずれかの方向にボールを明確に蹴り進めることであり、手の中のボールをチョンと蹴ることではない。		
3	キャバルリー・ チャージ	・防御側のスクラムオフサイドラインがスクラムよ3メートル下がっていることをいいことに、スクラムからボールが出る前に攻撃側のプレーヤーが後方より勢いをつけて走り込み、ハーフバックからフラットなパスを受けて突進を試みるブレーで競技規則に反するプレーである。		